

令和4年度
認定 NPO 法人さわおとの森
事業・活動計算報告

令和4年度事業報告について・・・・・・・・・・ P 1

令和4年度活動計算報告について・・・・・・・・ P 3 6

令和4年度貸借対照表について・・・・・・・・ P 4 0

令和4年度財産目録について・・・・・・・・・・ P 4 1

令和4年度 認定NPO法人さわおとの森 事業報告

I. 法人事業の総括

今年度の法人内での人の動きといたしまして、昨今、国内では少子化が叫ばれている中、さわおとの森では、おめでたいことに出産ラッシュを迎えております。今年の3月の時点で産休育休に入っている、またはその予定である職員が9名おりました。全職員の1割が、その対象者であります。現場では他の職員が物理的にも精神的にも妊婦さんをカバーして配慮してくれている状況ですが、法人といたしましては、職員の離職率の低下や“働きやすい職場”ということを目指しているところでございます。

また、昨年度4月は「多機能サポートランドさわおとの森」の新天地、利府町寺下地区にて支援再開をいたしました。おかげ様で、ご利用者の大きな混乱もなく大方、順調なスタートを切りました。近隣地域住民からの理解と、地域の交流の場としてコミュニティの一環に貢献していきたいという職員たちの熱い希望があり、令和5年3月18日（土）に「さわおと食堂」なるネーミングで地域食道を開催しました。87名の事前申し込みがあり、当日は悪天候にもかかわらず、80名の参加者が募り盛況裡となりました。その影には、利府町子ども支援課・地域福祉課、利府町社会福祉協議会、町内会長の後方支援があり、フードバンク団体による食材提供など多数の方々の援助を頂き開催することができました。今後も開店の企画を予定しており、皆様に見守って頂ければ有難いと存じます。

さて、令和4年度は、2020年1月に国内初の新型コロナウイルス感染発症の報道から2年を経過した10月に、ついに当法人にもその黒い影が忍び込んできて、各事業所内で、ご利用者、ご家族、職員など、多数発症しました。そして、法人開業以来17年目にして臨時休業を迫られる事態となりました。そこで、臨時会議を開き、会議中、前半に罹患したホテル療養中の職員へ体調を気遣いながらも電話を掛けて、今後の職場復帰の予定を聴き、現在～今後の支援態勢を講じる検討を行うなど、正に綱渡りのシフトをライブで行う状況でした。

しかし、グループホームは生活介護等の日中支援と違い居住サービスなので罹患者が出ても休むわけにはいかず、他の事業と関わらないようにゾーニングをし、家族や職員等と関わらない少数精鋭部隊の職員にて支援を14日行いました。この際に、命に関わる業務でありながら誰一人勤務を拒む職員はおらず、手前味噌ではありますが、職掌柄、“福祉の精神”を抱く生き様というものを垣間見たような気がいたしました。結果、利用者6名中4名、支援職員13名中7名が罹患しました。

ほか、社会的貢献という観点から、宮城県中央児童相談所より被虐待児緊急一時保護の要請を受諾して、4月から約2週間余り障害児の一時保護を開始し、未就学児、小学生、高校生など合計3名の障害児の受け入れを行って参りました。県児相の情報提供から当該児へ向けた支援に関すること、日中・夜間の支援体制のシフトなど、職員間の綿密な検討会を経て、社会的養護内容の一員として職員が奮闘して参りました。

今年度は、金銭や物品では表せない“法人の財産”を得られてきたというところを実感する年であったと思います。

1. 総会に関する事

実施時期	内 容
5 月 25 日	定期総会 ○令和3年度事業報告・活動計算・貸借対照表・財産目録 ○監査報告 ○令和4年度事業計画（案）・収支予算（案） についてすべて承認されました。

2. 理事会に関する事

実施時期	内 容
5 月 25 日	第1回理事会 ○令和3年度事業報告・活動計算・貸借対照表・財産目録 ○監査報告 ○役員改選 についてすべて承認されました。 清野理事の理事長退任に伴い、理事の互選により齋藤純子代表理事と、高橋繁夫専務理事が就任しました。 ○多機能サポートランドさわおとの森新築移転（報告）
3 月 15 日	第2回理事会 ○令和4年度事業計画（案）・収支予算（案） についてすべて承認されました。

3. 届出に関する事

実施時期	内 容
6 月 3 日	宮城県環境生活部共同参画社会推進課NPO・協働社会推進班へ下記を届出 ○事業報告の届出 提出書類：役員報酬規程・職員給与規程・認定NPO法人関係書類 令和3年度事業報告・活動計算書・財産目録・貸借対照表 前事業年度の役員と報酬を受けた役員の名簿 社員のうち10人以上の者の名簿
6 月 21 日	仙台法務局に代表理事の登記を届出 同じく法人の主たる事務所所在地の変更を届出

4. 広報に関する事

（1）広報さわおとの森

発行月	内 容
6 月	法人広報誌「広報さわおとの森」No31作成・配付約810部 内容：代表理事就任の挨拶／令和4年度理事会・通常総会を終えて／法人全職員の紹介
1 月	法人広報誌「広報さわおとの森」No32作成・配付約850部 内容：今年度一年を振り返って／さわおとの森移転後一年経過報告／あかいしの森の児童発達支援センター機能について／ショートステイってどんなところ？／県市町から請け負っている「委託事業」について紹介 他

(2) ホームページブログ更新

掲載月日	内 容
4 月 25 日	多機能サポートランドさわおとの森の引き渡し式と移転新築開所式の報告
5 月 6 日	多機能サポートランドさわおとの森“居宅介護・行動援護”の活動報告
6 月 24 日	多機能サポートランドさわおとの森“生活介護のみ”の活動報告
8 月 20 日	多機能サポートランドさわおとの森 受贈品のお礼と紹介
9 月 8 日	こども発達センターあかいしの森の活動報告
10 月 20 日	多機能サポートランドさわおとの森（新築移転後の）短期入所棟の紹介
10 月 20 日	塩釜市ひまわり園の活動報告
11 月 24 日	利府こども発達センター“どんぐり”の活動報告
12 月 23 日	多機能サポートランドさわおとの森“放課後等デイサービスくるみ”の活動報告
3 月 13 日	こども発達センターあかいしの森の活動報告
3 月 17 日	第一回さわおと地域食堂開催について広報
3 月 30 日	多機能サポートランドさわおとの森“居宅介護・行動援護”の活動報告

5. 全体研修に関すること

(1) 法人職員を対象とした人材育成研修や、法人運営にかかわる研修等参加

実施日	名 称	場所・講師等	人数
6 月 28 日	短期入所支援の際の移乗・入浴リフト講習	佐藤(祥)主任	24
7 月 4 日	虐待・身体拘束に関すること	佐藤(信)統括主任、渡部(史)主任	28
9 月 21 日	不審者対応訓練	塩釜警察署 生活安全課 2 名	31
12 月 1 日	続・言葉がけと叱り方～ほめ方と叱り方、そして傾聴～	今野和則法人理事	29
1 月 12 日	安全運転講習 交通安全講習・厳冬の雪道走行のコツ等	一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)	30
2 月 16 日	障害福祉における相談とは	恵泉会地域生活支援センター 佐藤 幸恵 様	29

(2) 新人職員人材育成研修（令和 3 年度中途採用者含め実施）

実施日	名 称	場所・講師等	人数
3 月 25 日～	令和 4 年度新規採用者研修	代表理事、専務理事、各園管理者	6
5 月 18 日、26 日	言葉の勉強会	鈴木言語聴覚士	5
6 月 13 日、23 日	摂食に関すること	鈴木言語聴覚士	5
7 月 12 日	メンタルケア・虐待防止に関すること	雪田産業看護師、佐藤(信)統括主任、渡部(史)主任、人事部	6
10 月 3 日	メンタルケア・先輩職員との茶話会	雪田産業看護師、各園リーダー、人事部	7
2 月 21 日	1 年のまとめとディスカッション	齋藤代表理事、山田センター長、人事部	7

(3) 他法人を含めた職員を対象とした強度行動障害支援者養成研修（宮城県指定）の実施

実施日	項 目	受 講 者
8 月 24 日 (オンライン) 8 月 27 日 (集合研修)	基礎研修	当法人：2 人 他法人：12 人（宮城東部、加美郡、富谷、東松島、仙台、黒川）
9 月 14 日	実践研修	当法人：2 人

(オンライン) 9月17日 (集合研修)		他法人：12人（宮城東部、富谷、東松島、仙台、黒川）
----------------------------	--	----------------------------

(4) サビ管・児発管研修

実施日	名 称	受講者	人数
7月20日～25日	更新研修	高橋専務理事、佐藤(信)、伊藤、菅原	4
11月30日～12月22日	基礎研修 (Eラーニング・zoom ミーティングにて5日間)	成沢、氏家	2
	実践研修	該当者なし	0

6. 全体会議に関すること

(1) 管理者会議

定例議題：各事業所の運営報告

実施日	内 容	人数
4月20日	新型コロナ対応の件、新年度体制について経過報告、さわおと倶楽部決算の件等	8
5月19日	法人監査の件、理事会総会の件、健康診断の件、ひまわり園指定管理の件、広報の件、児相一時保護の件	8
6月16日	理事会総会の件、代表理事着任挨拶、新人研修ならびに人材育成研修の件等	7
7月21日	職員研修の件、夏期休暇の件等	7
8月23日	業能力評価について等	7
9月15日	新型コロナ対応の件、人材育成研修について等	7
10月20日	新型コロナ対応の件等	7
11月17日	人材育成研修報告等	7
12月13日	理事会の日程について、職業能力評価の件等	7
1月20日	理事会の件、事業計画書の件等	7
2月16日	理事会資料作成の件、辞令交付式の件、新任職員研修の件等	7
3月16日	令和5年度体制について、辞令交付式について、理事会について等	7

(2) 統括主任会議

実施日	内 容	人数
4月8日	各園の状況報告、虐待防止委員会の設置について、新年度の体制について	5
5月18日	各園の状況報告、セルフチェック表について、児相一時保護対応の振り返り	5
8月5日	各園の状況報告、ブラストメールについて、各園ヘルプ体制の確認	5
8月31日	各園の状況報告、契約書等の変更について、報酬改定に伴う実費徴収増額について、看護師共有会議の報告、ブログ更新について、役職者会議の実施について	5
9月7日	組織力・サービス向上会議の実施について	3
9月27日	組織力・サービス向上会議の振り返り、法人内放デイ会議について、法人体制の変更に伴う変更届について、ブラストメールについて、勤務表ベース作成について	4
11月7日	各園の状況報告、ぼくらの家コロナ感染対策反省会の共有、法人内放デイ会議について	4
12月5日	各園の状況報告、虐待防止委員会より、法人内放デイ会議について、みんなの家利用者コロナ感染時のGH当直勤務について	4
1月16日	各園の状況報告、広報について、3月4月の勤務表について、年度末の営業について、	4

	放デイ・児発の事業所評価について	
2月7日	各園の状況報告、虐待防止委員会の今後の流れについて、組織力・サービス向上会議の今後の流れについて、関係機関連携加算の算定について	4

(3) 看護師情報共有会議

実施日	内 容	人数
4月25日	勤務状況及び担当利用者、利用者情報、管理者会議報告	5
6月22日	看護師フォロー体制について、熱中症対策について、利用者情報	3
8月30日	各園勤務状況、インフルエンザ集団接種について、利用者情報、管理者会議報告	5
10月31日	コロナ感染症対応について、インフルエンザ集団接種について、吐物処理について、利用者情報	5
12月21日	インフルエンザ集団接種総括、吐物処理研修について、利用者情報	5
2月27日	年度総括、利用者情報共有	5

(4) 虐待防止と身体拘束等の適正化委員会

令和4年度より虐待防止委員会の設置と法人内職員向け研修等を実施。

実施日	内 容	人数
4月19日	全体顔合わせ	11
5月26日	年間計画の確認、施設チェックリスト実施	6
7月4日	中堅者向けの研修会実施	15
7月6日	中堅者、新人向けの研修内容の共有と進捗確認、ヒヤリハットの共有	7
7月12日	新人向け研修の実施	8
10月12日	職員向けチェックリストの検討、ヒヤリハットの共有（コロナ対策のため延期）	7
12月14日	職員向けチェックリストの検討、ヒヤリハットの共有（10月12日分も含む）	7
1月18日	高田先生に依頼し身体拘束等の適正化に関する研修会 集合型とオンライン型で実施	15
3月22日	今年度の振り返り、次年度に向けた取り組みの確認	11

7. 労働安全衛生に関すること

毎月事業所ごとに職場点検チェックを行うとともに、4事業所を巡回しての定例的に労働安全衛生委員会を行い、職場環境の点検、改善策等を実施しました。

○委員：高田産業医・早坂衛生管理者・雪田産業看護師・各園管理者・職場代表

実施日	巡回相談場
4月20日	利府こども発達センター
5月18日	こども発達センターあかいしの森
6月8日	塩竈市ひまわり園
7月12日	多機能サポートランドさわおとの森
8月31日	利府こども発達センター
10月5日	塩釜市ひまわり園
10月19日	こども発達センターあかいしの森
11月9日	多機能サポートランドさわおとの森
12月7日	利府こども発達センター
1月11日	こども発達センターあかいしの森
2月15日	塩竈市ひまわり園

3月8日	多機能サポートランドさわおとの森
------	------------------

8. 利用児（者）および保護者向けの食育・偏食指導および言語聴覚に関する取り組み

言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・栄養士などの専門職が主体となり、各事業の担当者と密に連携を図りながら個別の摂食および偏食指導・言語聴覚指導に加えて利用児（者）全体、および保護者家族等、また支援者に向けて食育や言語発達全般の意識付けをすることを目的に、勉強会やイベント等を企画・運営しました。

実施日	実施場所・内容
5月18日	こども発達センターあかいしの森 言葉の勉強会「ことばの力を育むヒント」
5月24日	こども発達センターあかいしの森 言葉の勉強会「ことばの力を育むヒント」
6月13日	こども発達センターあかいしの森 保護者勉強会「安全に おいしく食べるために」
6月23日	こども発達センターあかいしの森 保護者勉強会「安全に おいしく食べるために」
1月17日	ひまわり園 保護者勉強会「ことばの力を育むために」
1月19日	多機能サポートランドさわおとの森生活介護わのみ わのみ喫茶「提供食試食会」「栄養士10分講座」
1月20日	多機能サポートランドさわおとの森 調理部「未就学児お弁当の日」①
1月24日	利府子ども発達センター児童発達支援どんぐり たけのこタイム「偏食へのサポート」
2月21日	多機能サポートランドさわおとの森 調理部「未就学児お弁当の日」②
3月16日	多機能サポートランドさわおとの森 調理部「未就学児お弁当の日」③
3月18日	多機能サポートランドさわおとの森 「さわおと地域食堂」

Ⅱ. 多機能サポートランドさわおとの森

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 放課後等デイサービスくるみ（放課後等デイサービス事業）

【実施状況】

様々な活動を提供しながら、利用者個々の能力向上を図り、集団行動や社会体験外出を通して社会適応能力の向上に努めてきました。

令和4年度は新しい建物に移り、環境の変化に戸惑う利用児も見られましたが、3月中旬より新棟で活動したことや、旧さわおとの森このみ棟の活動室を再現したことにより、大多数の利用児は混乱することなく新しい建物で活動することができました。

また、依然としてコロナウイルス感染症の対策に追われ、利用時間前後の消毒作業、換気装置による定時換気、ソーシャルディスタンスの確保（小集団に分けての活動、窓際にテーブルを設置し向かい合わせにならない、飛沫拡散防止のシートの設置等）感染拡大防止に努めました。

利用児に対する手洗い・うがい・マスク着用の啓発活動を行ってきた結果、マスクの着用率が上がってきています。

コロナ禍の中で活動が制限され、公共施設や公共交通機関が使用できない中、子ども達に夏休みを楽しんでもらえるように、デイとショートステイが連携して「くるみキャンプ」を実施しました。

日中は活動でデイキャンプに外出して、川遊びやスイカ割りを楽しみ、夕方からショートステイに入り、花火大会やお楽しみ上映会等を行いました

普段は色んな年代の方がお泊りするショートステイですが、デイの子ども達がお泊りすることや、普段ショートステイを利用されていない方も、行事があることでお泊りする事ができ、利用児やご家族からも好評の企画となりました。

機会があれば来年度も実施していきたいと思います。

①室内活動

制作	季節の催事に合わせた制作を実施 春の壁面制作、夏の壁面制作、秋の壁面制作、冬の壁面制作、母の日制作、ハロウィン制作、クリスマス制作、書初め、節分制作、ひな祭り制作
クッキング	餃子の皮ビザ、フルーツパフェ作り、お好み焼き 他
音楽活動	音楽プログラム、リトミック 他
運動	キッズヨガ、キッズダンス、キッズストレッチ、運動会、集団遊び、雪遊び、ミッションゲーム、なわとび、他
感覚	フィンガーペインティング、スライムづくり 他
その他	避難訓練、ハロウィンパレード、大掃除、クリスマス会、豆まき会、ひな祭り会、他

②屋外活動

外出先	奥松島縄文村歴史資料館、公園散策、初詣、他
社会体験	初詣、買い物体験、他

③行事

4月（お花見）5月（母の日）7月（七夕会）8月（くるみキャンプ）9月（お月見）

10月（ハロウィンパレード）11月（焼き芋会）12月（クリスマス会）1月（初詣、書初め）2月（豆まき会）3月（ひな祭り会、春休み遠足）

④くるみだより、写真集の作成・配付

くるみだよりでは翌月の活動予定等を掲載し、写真集では利用者一人ひとりの活動の様子を掲載し、利用者並びに家族に配付

【開所日数】233日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	実人数	26	27	27	28	28	28	
	延人数	161	178	197	182	178	187	
令和3年度	実人数	30	30	30	30	30	30	
	延人数	186	169	198	198	147	150	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和4年度	実人数	28	28	28	28	28	28	—
	延人数	164	194	194	187	188	215	2225
令和3年度	実人数	30	30	31	31	31	31	30
	延人数	150	169	184	163	129	138	1981

【スタッフ数】管理者1人・児童発達支援管理責任者1人・児童指導員2人・指導員1人
保育士2人・看護師1人

2. 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

(1) 生活介護のみ（生活介護）

【実施状況】

令和4年度より新築移転に伴い定員を20名に増やしました。生活介護の日常は、毎日の生活日課と余暇時間を調整しながら個別支援計画に基づいた自立課題や体力づくり、機能維持向上、技術の習得などを目的とした活動や取り組みを中心としています。今年度もリハビリを意識し、午後の活動前にリハビリ体操を実施しています。スタッフも援助しながら、意識的に体を動かすことで継続的な体の機能維持を試みています。

その他、コロナウイルス感染拡大に伴い行事等の縮小はやむを得ずではありましたが感染予防を徹底し、十分な換気と消毒対策、食事は分散をしてフェイスマスク等の活用も始めました。

上記の活動と関連付け、健康・医療面としては、年1回の集団健康診断の実施や嘱託医である高田医師との相談の機会を2回実施しました。（利用者向け、職員向けにの相談）法人内に在籍する看護師とも連携を取って、利用者一人ひとりの状態を把握することが出来るように整備、また、昨年度に引き続き専門職（作業療法士・言語聴覚士）の指導日も設定し、栄養士・調理師とも連携して摂食時の個別リハビリを継続しています。

【主な行事】

4月	お花見外出、	10月	秋季ミニ体育祭
5月	野外調理体験 健康診断実施	11月	焼き芋体験
6月	わのみ喫茶	12月	お楽しみ忘年会、
7月	夏祭り、七夕制作	1月	初詣週間、書初制作、わのみ喫茶
8月	医療相談（利用者向け）スイカ割り	2月	豆まき会、医療相談（職員向け）
9月	梨狩り体験会	3月	思い出旅行

【開所日数】 252日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	実人数	20	20	20	20	20	20	
	延人数	376	365	421	399	415	414	
令和3年度	実人数	18	18	18	18	18	18	
	延人数	358	307	376	367	326	373	

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和4年度	実人数	20	20	20	20	20	20	20
	延人数	409	418	403	378	382	429	4809
令和3年度	実人数	18	18	18	18	18	18	18
	延人数	353	368	352	335	309	373	4197

【スタッフ数】 管理者1人・サビ管1人・生活支援員9人・看護師1人・嘱託医1人

（2）ショートステイ（短期入所事業）

【実施状況】 自宅以外での宿泊経験、特に学童期に集団で夕方から翌日朝まで過ごす体験をしたり、生活に必要な動作をできるだけ自分の力で行う生活訓練の要素を取り入れながら1泊2日程度の短期の利用を中心にご利用いただいています。 令和4年度においては、新型コロナウイルスの影響が下半期にかけて緩和されつつあったものの、継続して徹底した感染症拡大防止策や衛生管理のもとにできる限り通常どおりのご利用をしていただけるように事業を進めてきました。 令和4年4月の事業所移転から1年が経ち、以前からの利用者也戸惑う事なく利用されています。おかげさまで新規での見学希望者・契約者も増えてきている状況です。 【主な行事】 5月：変わり湯(菖蒲湯) 8月：くるみキャンプ（放デイコラボレーション企画） 9月：ピクニック(マクドナルドでおやつ購入) 10月：変わり湯(生姜湯) 11月：芋煮会（手作りピザ作成） 12月：変わり湯(柚子湯) 2月：温泉の日 【実施日数】日実施 360日

【利用人数】								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	実人数	118	111	129	128	122	119	
	延人数	276	279	307	306	266	286	
令和3年度	実人数	120	122	116	122	122	122	
	延人数	210	281	295	307	269	296	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和4年度	実人数	121	127	127	127	132	135	—
	延人数	256	287	300	320	311	335	3529
令和3年度	実人数	113	125	124	113	89	95	—
	延人数	297	306	311	283	223	238	3316
【スタッフ数】生活支援員14人（他事業所兼務）								

(3) 居宅介護・行動援護

【実施状況】								
居宅介護は、昨年度に比べコロナに対する緩和が見られたものの未だ不安視する保護者の声があったものの、令和4年ではコロナ不安の中でも生きるために必要な通院の部分は何としてでもやらなければならない、というご家族様の意見が出てきており、医療機関の対応も定まってきていることから利用再開する利用者が増えてきています。 行動援護は、引き続き衛生対策を講じたうえでの支援者と1対1のサービスということで需要が高く、「心身の健康維持のための散策」を主軸に据えて支援を継続しています。しかし、不安視する保護者もあり、一部支援内容を変更しながら実施する事もありました。昨年度は短期入所のサービスや日中活動の事業所の組み合わせでは対応しきれない緊急的なサービス利用をつなぐ形で活用し、新規利用の見込みも含めて利用希望は増加傾向にあります。 また、法人で強度行動障害支援者養成研修を実施していることで業務対応できる資格を取得するスタッフも増えており、今後一層の活躍が期待されています。								
【実施日数】285日開所								
【利用人数】								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	実人数	—	—	—	—	—	—	
	延人数	29	30	32	40	39	36	
令和3年度	実人数	12	11	12	14	11	12	
	延人数	22	25	26	26	23	23	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和4年度	実人数	—	—	—	—	—	—	—
	延人数	33	37	36	40	30	35	417
令和3年度	実人数	16	13	11	12	10	10	—
	延人数	22	23	25	25	22	20	282
【スタッフ数】他事業と兼務								

(4) 市町村事業

日中一時支援事業・移動支援事業

【実施状況】	日中一時事業	実施なし	移動支援事業	実施なし
--------	--------	------	--------	------

3. 付随事業

(1) 職員の研修等に関する事※新型コロナウイルス感染予防とし、オンライン中心で受講しました。

実施日	名 称	場 所	人数
5 月 26 日	OJT 指導者養成研修	県社協(オンライン)	1
7 月 1 日	障害者家族の 8050 問題	名取文化会館	1
7 月 6 日	クレーム対応研修(基礎編)	県社協(オンライン)	1
8 月 5 日	感染対策の基本と新型コロナウイルス感染症対策	宮城厚生協会(オンライン)	1
9 月 27 日	アサーティブコミュニケーション	県社協(オンライン)	1
10 月 29 日	指導者のために介護技術	聖和学園短期大学	1
11 月 22 日	リーダーのための指導術	仙台市市民活動サポートセンター	1
12 月 7 日	リーダーのためのコーリング研修	県社協(オンライン)	1
1 月 25 日	成人期発達障害者支援ネットワーク～グループワークの進め方～「成人期支援における各園域の現状と課題」	えくぼ(オンライン)	1
2 月 2 日	ペアレント・プログラム支援者研修(塩釜園域)	宮城県総合教育センター	2
2 月 7 日	職場環境とメンタルヘルス	仙台市市民活動サポートセンター	1
2 月 15 日	セーフティーマネジメント	仙台市市民活動サポートセンター	1
2 月 28 日	スーパービジョン研修	県社協(オンライン)	1
3 月 1 日	ヤングケアラー支援基本研修	一般社団法人宮城県社会福祉会(オンライン)	1

(2) 職員会議に関する事

① 全体職員会議

実施日	内 容
4 月 1 日	新体制の確認や各部署の動きの確認。園内係分担について

※コロナ禍のため、その他全体職員会議は中止とした。

②放課後等デイサービスくるみクラブ支援会議

実施日	内 容
毎月	個別支援計画、活動について、行事について、その他

③生活介護わのみ支援会議

実施日	内 容
毎月	個別支援計画について、専門職指導内容の共有 他

④短期入所支援会議

実施日	内 容
3 か月に 1 回	利用者情報共有、行事等の確認、その他

⑤居宅会議

実施日	内容
3 か月に 1 回	利用者情報共有、行事等の確認、その他

⑥給食会議

実施日	内容
3 か月に 1 回	献立、反省、食形態、新型コロナウイルス感染予防、台所環境、検便について

(3) 防災に関すること

実施日	内容・参加者
偶数月	避難訓練実施
6 月 10 日	総合防災訓練実施（消化訓練・通報訓練）
2 月 28 日	総合防災訓練（消化訓練・通報訓練）

(4) 広報に関すること

くるみ便り・わのみ便りを月 1 回、さわおと NEWS を年 3 回、それぞれ発行・配付し、活動状況の報告と次月の予定・計画等を家族へお伝えしました。

(5) 啓蒙活動に関すること

さわおと地域食堂の開催

法人啓蒙と地域コミュニティづくりの活動の一環として、多機能サポートランドさわおとの森の設備や週末の空いた空間を活用し、無料の食事提供と他法人等の福祉生産物の物販や理髪などを行い交流拠点としての活動を行いました。
開催日時：令和 5 年 3 月 18 日（土）10：30～14：30 内 容：①無料の食事提供 80 食（豚汁とおにぎり 2 個） ②理髪（通常の店舗でカットが難しい方限定）3 人＋見学 1 人 ③福祉生産物の物販（わはわ大衡、松の実） ④バルーンアート ⑤付録おもちゃ、お菓子、野菜等の無料配付 ⑥当法各事業所、関係法人のパンフレット等の設置 参加者：80 名（当日悪天候のためか、2 世帯のキャンセルあり） 主にお子様連れ家族が参加、食事場としての空間提供や他法人のパンやクッキーなどの買い求める方々など、大いににぎわいを見せました。広報エリアを近隣地域に限定することで近隣の障がいをお持ちの方やその家族はもちろんのこと、今まで全く繋がりがなかった方々の参加と交流を図れ、法人啓蒙と地域（障害）コミュニティづくりとしての初回活動としては成果を実感できました。また、協力いただいた各所との連携の中で、法人外の人脈づくりや視野を広げられたことは職員育成の視点からも一助となりました。

Ⅲ. 塩竈市ひまわり園

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 児童発達支援事業ひまわりキッズ（児童発達支援事業）

【実施状況】

発達に障がいや何らかの遅れがある未就学児の親子を対象に母子通園並びに単独通園を実施しました。個別支援計画に基づき、個別もしくは小集団での各種療育支援を行うと共に、ご家族への療育アドバイスをを行い、より良い成長を促すための支援を行いました。

令和4年度もコロナ感染症対策として、入室時の検温・手指の消毒・遊具等の消毒を徹底してきましたが、職員・利用児の感染により11月に休園した日がありました。皆様にはご心配やご迷惑をかけてしまい、大変申し訳なかったと思っております。それ以降は園内での感染はなく、療育することが出来ました。

4年度は新規ご利用が8名と多く、継続利用児と合わせると20名の契約になりました。幼稚園や保育所との併行利用が多くなった年でした。週1回でも今までと違った環境に来て、療育支援を受けた併行利用児の保護者様にも成長を感じていただけたことをうれしく思っています。令和5年3月には小学校・幼稚園に5名を送り出しました。

【主な行事】

4月：はじまりの会・お花見

5月：春の遠足（ながすか多目的広場）・誕生会・保護者勉強会（ST）

6月：親子で遊ぼう会・誕生会・保護者勉強会（心理士）

7月：星まつり（藤倉保育所と合同）・先輩ママとの茶話会

8月：水遊び・運動遊び

9月：親子で遊ぼう会（OT）・誕生会

10月：秋の遠足（梨狩り）・ハロウィンパーティー

11月：歯みがき教室（県歯科衛生士会）・誕生会

12月：クリスマス会・誕生会

1月：園外活動（みなと公園）・保護者勉強会（ST）

2月：園外活動（塩竈神社）・豆まき会・誕生会・交流会（ごきげん座）

3月：お雛祭り会・卒園式

【実施日数】 238日（月曜日～金曜日9：00～13：00）

【利用人数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人数	17	19	19	19	19	19	
	延人数	144	143	185	178	149	137	
3年度	実人数	15	16	17	17	17	17	
	延人数	169	145	204	176	162	181	
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4年度	実人数	19	19	19	19	17	19	19
	延人数	161	117	164	141	148	165	1,832
3年度	実人数	17	16	17	16	16	16	17
	延人数	190	175	176	152	130	182	2,042

【スタッフ数】 管理者、児童発達支援管理責任者兼務 1 人・保育士 1 人・児童指導員 5 人

※ひまわりクラブと兼務

【そ の 他】 臨床発達心理士・作業療法士・言語聴覚士・動作法の専門職の協力 4 1 回実施

(2) 放課後等デイサービスひまわりクラブ（放課後等デイサービス）

【実施状況】

学童障がい児を対象に個別支援計画を作成し、放課後や長期休み等に小集団活動や個別での各種療育活動・社会体験などを行い、より良い成長・社会性の向上を図ることを目指してきました。併せて、ご家族への支援も心がけてきました。

令和 4 年度は 4 月に 3 名の新規契約児がおり、2 6 名の学童児に利用していただきました。利用児のご家族と個別面談を実施し、ご希望を聞きながら安心してご利用していただける体制を心がけてきました。

今年度も with コロナでうがい・手洗い・消毒を徹底してきましたが、感染力には勝てず休園してしまい、ご心配やご迷惑をかけてしまいました。子どもたちの感染児が少なかったことは、幸いでした。

活動は工夫しながらクッキング等も行い、コロナ前とはいきませんが、制限されることが少なくなってきました。2 6 名の学童児は学校も 10 校と多く、みんなが顔を合わせることはないのですが、楽しく過ごせるように配慮してきました。

令和 5 年 3 月には、高校 3 年生 4 名が卒業しました。

【主な活動】

4 月：社会体験・買物体験 5 月：クッキング・社会体験・公園活動
6 月：社会体験・公園活動・避難訓練 7 月：クッキング・社会体験・夏まつり
8 月：クッキング・社会体験・シアター鑑賞 9 月：公園活動・社会体験・室内活動
1 0 月：買物体験・社会体験・制作活動 1 1 月：制作活動・買物体験・社会体験
1 2 月：お楽しみ会・社会体験・制作活動 1 月：初詣・書初め・社会体験
2 月：節分・避難訓練・クッキング 3 月：買物体験・お楽しみ会

【実施日数】 平日 2 3 9 日実施 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

土曜日 利用者無し

【利用人数】

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
4 年度	実人数	2 3	2 3	2 2	2 4	2 4	2 2	
	延人数	7 0	8 5	8 9	7 9	6 3	7 6	
3 年度	実人数	2 4	2 1	2 4	2 6	2 6	2 2	
	延人数	8 4	7 7	9 6	8 7	7 0	7 4	
月		1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年間
4 年度	実人数	2 3	2 3	2 2	2 5	2 3	2 4	2 5
	延人数	8 4	7 2	7 8	7 9	8 0	7 4	9 2 9
3 年度	実人数	2 1	2 2	2 4	2 4	1 9	2 1	2 1
	延人数	8 1	8 5	8 4	7 3	5 9	6 3	9 3 3

【スタッフ数】 管理者、児発管兼務 1 人・保育士 1 人・児童指導員 5 人（キッズと兼務）

2. 健常児童に対しての各種福祉サービス事業

(1) 兄弟児支援事業

【実施状況】

昨年に引き続きコロナ禍もあり、密を避けるため兄弟児支援は行わずに利用児の母子分離を行いました。

3. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 塩竈市障害児・者発達相談支援事業「ひまわり相談室」

【実施状況】

平成 21 年度より塩竈市からの委託事業として、専門職（臨床発達心理士・作業療法士）による塩竈市の在宅障害児・者の各種相談を無料で実施

【実施・訪問場所】

ひまわり園、利府支援学校・塩釜校、塩竈市立第一小学校、塩竈中央幼稚園、ひまわり幼稚園、塩釜聖光幼稚園、多賀城東幼稚園、地域拠点センター、清水沢保育所、北浜保育所

【実施日数】 24 日実施（2 日／月）

【利用実数】

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
4 年度	相談実数	3	2	3	2	2	4	
3 年度	相談実数	5	3	5	4	3	3	
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
4 年度	相談実数	4	1	2	3	4	3	33
3 年度	相談実数	4	3	6	3	4	4	47

【スタッフ】 臨床発達心理士・作業療法士の専門職 2 人

4. 付随事業

(1) 塩竈市ひまわり園運営委員会に関すること

【実施予定日・場所】

日 時：令和 5 年 2 月 15 日（水）13：30～15：00
場 所：塩竈市ガス体育館 会議室

【参加者】

保護者 1 人（1 人欠席）・教育委員会学校教育課 1 人・民生児童委員（欠員）
保健師 1 人・障がい者支援係 1 人・藤倉保育所々長 1 人・当法人理事長・副理事長
ひまわり園々長

【内 容】

ひまわり園の運営状況の報告と今後のより良い運営について、関係者・関係団体と協議を行う

(2) 研修に関すること（法人全体人材育成研修以外）

実施日	名 称	場 所	人数
4 年 5 月 1 8 日	言葉の勉強会	あかいしの森	1

(3) 職員会議に関すること

実施日	内 容	人数
4 月 12 日	事務連絡・5月の行事について・支援、活動について	7
5 月 12 日	親子遠足、誕生会、保護者勉強会について・支援、活動について	7
6 月 1 日	星まつりについて・保護者間のトラブルについて	7
7 月 7 日	星まつりについて・夏休みの受け入れについて	7
8 月 16 日	親子であそぼう会について・学童面談について	7
9 月 8 日	親子であそぼう会、誕生会について・活動、支援について	6
10 月 12 日	梨狩り、歯みがき教室、誕生会について・活動、支援について	6
11 月 29 日	クリスマス会、お誕生会について・活動、支援について	6
12 月 20 日	1月の行事について・冬休み利用、環境整備について	6
1 月 23 日	2,3月の行事について・個別面談について	6
2 月 14 日	3月の行事について・個別面談の進捗状況について	6
3 月 31 日	新年度の確認、受け入れについて・事務連絡	6

(4) 見学と実習の受け入れ、調査協力、地域貢献等に関すること

【実施状況】

仙台医療福祉秘書専門学校から1名（塩竈市在住者）。7月4日～15日の10日間
動作法・三好先生のゼミ生1名。9月～12月の間に12日間
保育体験の受け入れなし。

(5) 防災に関すること

【実施状況】

毎月1回、藤倉保育所の計画の元に、合同で避難訓練を実施。

7月の消火訓練を行う。

11月に総合避難訓練として、消防署職員が来園し、保育所・ひまわり園の職員による消火器使用の訓練を行う。

(6) 広報に関すること

【実施状況】

◎ 児童発達支援事業 「ひまわり園だより」を毎月発行。

◎ 放課後等デイサービス 「ひまわり園だより」を毎月発行。

IV. こども発達センターあかいしの森

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 児童発達支援「むーとん」(児童発達支援センター)

【実施状況】

令和4年度は47名でスタートし最終的には53名の在籍になっています。

開所以来、3クラス体制で行ってきたむーとんでしたが、令和4年度は、午前2クラス、午後「みち」1クラスにし、今まで担任3名のところを4名にし、少しでも手厚い支援ができるように取り組んできました。

午後は「みち」のみの利用も可能にしたことで、午前を幼稚園や保育園1本にし、午後の利用回数を増やせた事による成長も大きく見られ、実績にも繋がりました。

又、ペアレントプログラムを2グループに分けて行い、保護者の皆様にも、職員にも学びの場になり。保護者支援の大きな役割をはたしています。

コロナ禍の中、神経を使い苦情も多くありましたが、代替請求をもらさず行い、実績を上げる努力を重ねてきた一年でした。

【実施行事】

4月：はじまりの会・奉仕活動 5月：春の遠足・個別面談・ことばの勉強会・奉仕活動

6月：摂食の勉強会・奉仕活動・内科健診・プール開き 7月：奉仕活動・先輩母を囲んで・川遊び

9月：秋の遠足・奉仕活動・先輩母を囲んで・OT勉強会 10月：ミニ運動会・個別面談・七五三参り・OT勉強会

11月：内科健診 12月：クリスマス会

1月：父親参観 2月：節分・歯科健診 3月：卒園式

お別れお楽しみ会・まとめの面談

毎月：誕生会・ママミーティング(年間12回実施)

9月10月11月：ペアレントプログラム

【実施日数】 235日(コロナ休園 4/27, 5/2, 7/22~27)

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人数	46	47	48	48	48	47	
	延人数	306	310	413	372	363	355	
3年度	実人数	36	39	40	44	43	44	
	延人数	295	291	364	313	289	329	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4年度	実人数	50	52	52	53	53	50	54
	延人数	365	377	419	375	367	419	4,441
3年度	実人数	43	47	49	45	43	55	59
	延人数	314	340	365	180	247	395	3,722

【スタッフ数】 管理者1人・児発管1人・保育士5人・児童指導員3人・作業療法士1人
看護師1人

【その他】 臨床発達心理士12回、作業療法士42回、言語聴覚士55回の支援

(2) 放課後等デイサービス「ぴーす」(放課後等デイサービス)

【実施状況】

令和4年度は、3年ぶりにむーとん卒園児5名の新規受け入れを行いました。

慣れた場所や職員環境の中で、親子共に安心してご利用いただきました。

4月の法人の人事異動に伴い、職員体制が総変わりしたことによって、保護者の皆様の中には不安を感じられた方もいらっしゃいましたが、それをデメリットとしてではなく、メリットとして感じてもらえるよう、活動の工夫や保護者の方への引継ぎ等をしっかりと行い、職員と保護者の皆様との信頼関係の構築に努めてまいりました。

【実施行事】

- 4月：カレンダー作成・お花見・サーキット・新聞紙遊び
 5月：お買い物体験・母の日製作・園庭遊び・避難訓練週間
 6月：スライム遊び・畑作り・クッキング・七夕製作
 7月：お買い物体験・クッキング・水遊び・あのねとの交流会
 8月：カラオケごっこ・水遊び・避難訓練週間・夏祭りサーキット
 9月：粘土遊び・シャボン玉遊び・公園遊び・作って遊ぼう
 10月：ボール遊び・外出活動・交通ルールを学ぼう・ハロウィン製作
 11月：外出活動・集団遊び・カラオケごっこ・クッキング
 12月：クリスマス製作・クリスマス会・感覚遊び・外出活動(水族館)
 1月：初詣・お買い物体験・感覚遊び・クッキング
 2月：節分ごっこ・集団遊び・運動遊び
 3月：おひなさま・春サーキット・製作及び避難訓練・お出かけ

【実施日数】

240日(コロナ休園 4/27)

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人数	53	51	52	52	51	50	
	延人数	149	152	189	140	136	161	
3年度	実人数	54	53	53	57	49	49	
	延人数	172	183	212	194	145	164	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4年度	実人数	49	49	53	52	47	52	59
	延人数	158	158	162	145	154	177	1,887
3年度	実人数	54	49	54	48	42	51	59
	延人数	179	172	181	110	136	157	2,005

【スタッフ数】管理者1人・児童発達支援管理責任者1人・保育士1人・児童指導員3人
 理学療法士1人

【その他】保護者からの要望に応じ、専門職の支援を実施しております。今年度は言語聴覚士に3回入って頂きました。

(3) 保育所等訪問支援「ほーぷ」(保育所等訪問支援)

【実施状況】

主に支援学校への訪問を定期的に行っています。その他としては、特にあかいしの森むーとんに在籍している並行利用先に出向き、アドバイスをを行った後、職員の対応が大きく変わったとの報告を受けたケースもありました。

【実施日数】 22日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人数	0	2	8	0	0	5	
	延人数	0	2	8	0	0	6	
3年度	実人数	1	1	11	3	3	4	
	延人数	1	2	13	3	3	4	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4年度	実人数	3	0	5	5	1	0	18
	延人数	3	0	6	5	1	0	31
3年度	実人数	6	2	6	6	1	1	24
	延人数	10	2	6	7	1	1	53

【スタッフ数】 臨床発達心理士1人・作業療法士1人・言語聴覚士1人・保育士3人

(4) 居宅訪問型児童発達支援「にじ」(指定障害児通所支援事業)

【実施状況】

R4年度4月は利用者がいなかった為に、休止届を提出しておりましたが、10月に新規の利用希望があり、10月付けで再開しております。5歳の女の子の自宅にOTが訪問し、月に1～2回の療育を行っています。

【実施日数】 8日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人数	0	0	0	0	0	0	
	延人数	0	0	0	0	0	0	
3年度	実人数	0	0	0	0	0	0	
	延人数	0	0	0	0	0	0	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4年度	実人数	0	1	1	1	1	1	1
	延人数	0	1	2	1	2	2	8
3年度	実人数	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0

【スタッフ数】 作業療法士1人 言語聴覚士1人 看護師1人 保育士1人

2. 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業、並びに障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(1) こども相談支援つくしんぼ黒川（障害児相談支援事業・特定相談支援事業）

【実施状況】

作成対象者は当法人を利用している障害児・者を主とし、１０８人の計画を作成しました。進捗率は、他相談事業所との連携もあり、ほぼ１００％となっております。しかし、市町村より児童発達支援等の新規利用希望は続いており、全ての方への計画作成をつくしんぼ黒川で受ける事は困難となっております。そのため、富谷市・黒川相談支援ネットワークや宮城東部相談支援部会を通し、他相談事業所と連携、調整を行っております。

また、１８歳となり障害児相談支援事業（障害児）から特定相談支援事業（障害者）へと変更になる方に対し、特定相談支援事業を主としている相談支援事業所へケースの引継ぎを行い、その分、新たな児童の計画相談を行っております。

【実施日数】 ２４２日実施

【利用人数】

※利用計画とモニタリングも含む

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	
４年度	実人数	３３	１６	２５	１０	４７	１９	
	延人数	３３	１６	２５	１０	４７	１９	
３年度	実人数	３４	３２	１８	３９	３９	３１	
	延人数	３４	３２	１８	３９	３９	３１	
		１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	
４年度	実人数	１６	２０	２１	１５	２０	３７	
	延人数	１６	２０	２１	１５	２０	３７	
３年度	実人数	２４	２８	２６	２０	２４	１４	
	延人数	２４	２８	２６	２０	２４	１４	

【スタッフ数】つくしんぼ黒川 相談支援専門員 ４人

３．健全児に対しての各種福祉サービス事業

(1) 兄弟児支援事業

【支援内容】

今年度も長期休み中は富谷市社会福祉協議会のボランティアサークルの方々に助けていただきながら乗り切る事が出来ました。新たに、むーとん卒園児の保護者の方に加わっていただけたことも大きな収穫でした。

兄弟児の中には支援が必要と思われる児もおり、あずかりの中で成長している姿に、保健師からも「兄弟児まで育てていただける事に感謝しています」との言葉をいただいています。

【実施日数】 ２０８日

【利用人数】

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	
４年度	実人数	９	６	６	５	１０	４	
	延人数	４４	３８	４１	２８	５３	２３	
３年度	実人数	９	５	５	１１	１１	６	
	延人数	４６	３５	３９	５５	６５	３６	

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4 年度	実人数	4	5	11	7	7	10	13
	延人数	21	29	41	35	36	57	446
3 年度	実人数	7	6	12	7	7	11	17
	延人数	35	43	57	23	29	59	522
【スタッフ数】赤ちゃんボランティア（登録6人）及び職員								

4. 付随事業

（1）職員研修に関すること（法人全体人材育成研修以外）

強度行動障害支援者養成研修、児発管研修、障がい者相談支援従事者現認者研修、
医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修に参加
その他、Zoomにて年間30回の研修に参加

（2）会議に関すること

① 全体職員会議

内容：管理者会議報告、各部署報告等

参加者：全職員 回数：月1回 年12回実施

② むーとん会議

内容：情報共有、活動報告他 参加者：センター長、統括主任、むーとん職員等

回数：月1回 年12回実施

③ ぴーす会議

内容：活動の振り返り、利用者情報共有他

参加者：センター長、統括主任、ぴーす職員等

回数：月1回 年12回実施

④ 個別支援会議

【実施状況】

むーとん…クラス毎に必要な応じて行い、クラス運営や支援内容についての話し合いを行ってきた。

ぴーす…活動の振り返りの中で、個々の対応を含め毎朝、及び月1回行ってきました。

⑤ 給食委員会

内容：実施反省、次月の献立、利用者食形態の確認他

参加者：菅原栄養士、委託業者（調理員）、統括主任、給食担当者等

回数：月1回 年12回実施

⑥ その他会議（つくしんぼ黒川のみ）

実施日	内 容	場 所	人数
毎月	富谷・黒川地域自立協 相談支援NW会	ひだまりの丘、ZOOM まほろばホール、大和町役場	3
毎月	宮城東部地域自立協 相談部会	ZOOM	1
毎月	つくしんぼ黒川会議	つくしんぼ黒川	4

(3) 見学と研修、実習の受け入れ等に関すること

実施日	内 容	人数
5/19・5/26・5/31	新規開設事業所 みんな to さんぽ 職員実習（児童発達支援）	各 2
6/28	宮城県社会福祉協議会 見学実習生	1
7/4～7/15	仙台医療秘書専門学校 保育実習	1
9/29	東北福祉大学 見学実習	3
10/11～10/12 10/31～11/1	宮城大学 看護実習	各 3

(4) 地域交流に関すること（あかいしまつり）

令和 4 年度は、コロナ感染防止対策の為、実施しませんでした。

(5) 防災に関すること

【実施状況】

むーとん避難訓練 6 月 2 9 日 地震想定

8 月 2 3 日 火災想定

1 0 月 7 日 地震想定

1 2 月 2 日 火災想定

1 月 2 1 日 地震想定

ぴーす 避難訓練 5 月 2 3 日～5 月 2 7 日 地震想定

8 月 2 2 日～8 月 2 6 日 火災想定

1 2 月 1 2 日～1 2 月 1 6 日 地震想定

3 月 1 3 日～3 月 1 7 日 火災訓練

総合防災訓練実施日（避難・通報・消火訓練）※雨天の為、室内で地震訓練を実施

1 0 月 7 日 （むーとん利用児対象）

防災点検実施日 年 4 回実施 （北杜防災）

(6) 広報に関すること

園だよりの発行

・クラスだより（未就学各クラス用）を発行：1 2 回／年

・ぴーすだより（学童用）を発行：1 2 回／年 月の活動予定及びお知らせ・お願い事項等

V. 利府こども発達センター

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 利府こども発達センターどんぐり（児童発達支援事業）

【実施状況】

未就学の発達に遅れのあるお子さんとそのご家族を対象に、小集団生活の中で社会性を養い、子ども達の持っている力を引き出すための個別支援計画を作成し、それに基づき一人ひとりに合った療育を行ってきました。

また、お子さんのレスパイトでの受け入れを積極的に行って家族の負担軽減に努めてきました。運動・音楽・感触・集団・製作活動などの日々の活動、様々な行事を経験していく中で成長し、どの子ども達の自信に満ちた表情を見ることが出来ました。保護者との個別面談や日々の会話の中で子育ての困り感をタイムリーにキャッチし、解決方法を一緒に考えていくなど、家族支援にも取り組んできました。

令和4年度は、4人が卒園し、18人が次年度も継続利用となります。

・主な行事

5月	春の遠足（矢本海浜公園）	12月	クリスマス会（コロナウイルス感染者が出たため中止）
6月	お父さん参加	1月	歯科健診
7月	先輩ママとの茶話会	2月	お父さん参加
11月	運動会、リンゴ狩り	3月	お別れ遠足（八木山動物園）
6月、9月、1月	避難訓練	3月	お別れ会

【実施日数】239日実施

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和	実人数	16	17	17	17	17	17	
4年度	延人数	163	166	210	189	185	183	
令和	実人数	17	16	17	18	17	17	
3年度	延人数	158	150	180	187	165	190	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和	実人数	16	17	18	19	19	22	22
4年度	延人数	135	182	112	169	166	246	2,108
令和	実人数	19	19	20	20	20	20	20
3年度	延人数	237	187	200	207	170	224	2,255

【スタッフ数】管理者1人・児童発達支援管理責任者1人・保育士4人

【その他】専門職の指導 作業療法士・心理職・言語聴覚士・理学療法士 随時

(2) 利府こども発達センターあのお（放課後等デイサービス）

【実施状況】

学童児に対して、主に放課後や長期休業日に各種療育支援・自立支援を目的に活動を実施してきました。

活動ではクッキング・制作・個別課題・サーキットなどの室内で行うものや、買い物体

験・公園遊びなどの外出体験を通して様々な場所に慣れる・経験する・運動するなどの目的を踏まえながら、活動の場所も開拓してきました。

室内活動は個別課題やサーキットなど工夫を凝らして充実したものになり、楽しんで取り組めるようにしました。新型コロナウイルスの影響で活動に制限はありましたが、予防対策をしながら例年と変わらない活動を心掛けました。

・主な行事

- 4月 遠足（とんとんの丘、ベニーランド、石ノ森萬画館）、お花見、公園遊び
- 5月 音楽遊び、畑作業・避難訓練、買物体験、ウオークラリー
- 6月 制作（プラバン）、外出（青少年の森）、個別課題、買物体験、うちわ作り
- 7月 室内ゲーム、クッキング、音楽遊び・水遊び、外出（パレットおおさき）
- 8月 川遊び、縁日、遠足（仙台市天文台・材木岩公園・女川原子力PRセンター）、お楽しみ活動（ボウリング・アンパンマンミュージアム・電車）
- 9月 わんこラーメン、買物体験、公園遊び、収穫サーキット
- 10月 梨狩り、収穫作業、外出（仙台市科学館・八木山動物公園）、ハロウィン活動、
- 11月 ウオークラリー、個別課題、秋の散策、屋台ごっこ、ステンドグラス作り
- 12月 ミニ運動会、クッキング、クリスマス会・冬の花火、お楽しみ活動
- 1月 初詣（竹駒神社、定義山）、お正月遊び、パラシュート作り、餅つき
- 2月 桃太郎サーキット、買物体験、室内ゲーム、工場見学（車両基地・松森工場）
- 3月 フォトスタンド作り、公園遊び、映画館ごっこ、進級式、いちご狩り

【実施日数】 236日実施 （月曜日～金曜日 13時～17時）

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人数	41	42	42	42	42	43	
	延人数	160	165	182	147	170	154	
3年度	実人数	45	42	43	45	46	42	
	延人数	194	168	203	189	165	169	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4年度	実人数	43	43	44	44	44	44	44
	延人数	115	157	175	164	168	190	1,947
3年度	実人数	42	43	44	45	35	45	46
	延人数	195	185	193	163	133	178	2,135

【スタッフ数】 管理者1人・児発管1人・保育士1人・児童指導員3人・看護師1人

(3) 利府こども発達センターのびっこ（保育所等訪問支援事業）

【実施状況】

作業療法士と言語聴覚士による訪問支援員が、保育所・幼稚園・学校等へ伺い、そのスタッフ等へ相談アドバイスをを行い、障害児のインクルージョン教育に寄与してきました。

【開所日数】 236日開所

【利用人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
--	----	----	----	----	----	----	--

4 年度	実人数	2	9	14	8	4	6	
	延人数	2	9	14	8	4	6	
3 年度	実人数	1	5	16	6	3	5	
	延人数	1	5	16	6	3	5	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4 年度	実人数	12	5	6	8	8	4	86
	延人数	12	5	7	8	8	4	87
3 年度	実人数	7	4	8	5	3	4	67
	延人数	7	4	10	5	3	5	70
【スタッフ】 管理者1人・児発管1人・作業療法士2人・言語聴覚士1人・保育士1人								

2. 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

(1) ぼくらの家（共同生活援助）

【実施状況】 平成29年4月から当法人として初めて実施する共同生活援助です。利用者に対して生活支援員や世話人が夜と週末・祝日を中心に自宅に代わって生活支援を実施しています。平日日中は全員日中活動場所へ通っています。 10月にGH利用者に新型コロナ陽性者が出て、一定期間、療養及びホーム待機となりました。								
【実施日数】 365日実施 【利用人数】								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4 年度	実人数	6	6	6	6	6	6	
	延人数	180	174	180	186	181	180	
3 年度	実人数	6	6	6	6	6	6	
	延人数	180	180	180	186	180	178	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4 年度	実人数	6	6	6	6	6	6	6
	延人数	186	180	182	180	168	186	2163
3 年度	実人数	6	6	6	6	6	6	6
	延人数	186	180	185	178	168	186	2167
【スタッフ数】 管理者1人・サービス管理責任者1人・生活支援員2人 調理員（世話人）3人と当直職員9人（他事業と兼務）での交代勤務								

(2) みんなの家（短期入所事業）

【実施状況】 平成29年4月に、当法人として2番目の短期入所事業所を開所しました。上記の共同生活援助（ぼくらの家）の隣の居室等で受け入れを行っています。平成30年12月に増築工事が終了し、定員5人に増員され居住スペースも拡大、利用も大幅増になりました。 7月にSS利用者で新型コロナ陽性者が出た為、休業期間がありました。また、10月に								
---	--	--	--	--	--	--	--	--

も GH 利用者で新型コロナ陽性者が出た為、一定期間休業しました。

【実施日数】 3 3 9 日実施

【利用人数】

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
4 年度	実人数	6 8	8 3	9 1	7 3	7 3	8 4	
	延人数	1 7 1	2 1 9	2 3 9	1 8 8	1 8 8	2 2 5	
3 年度	実人数	7 0	7 5	8 0	8 3	7 5	7 1	
	延人数	1 6 9	1 7 7	2 0 6	2 0 7	1 8 1	1 8 8	
		1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年間
4 年度	実人数	5 5	8 4	8 2	7 5	8 5	9 2	1 5 3
	延人数	1 5 6	2 2 2	2 2 2	2 1 2	2 2 6	2 5 5	2 5 2 3
3 年度	実人数	7 7	8 5	8 3	6 0	6 5	5 4	1 7 8
	延人数	2 0 5	2 0 2	1 9 8	1 4 5	1 4 4	1 3 9	2 1 6 1

【スタッフ数】 管理者 1 人・当直職員 9 人（他事業と兼務）での交代勤務

3. 健常児童に対しての各種福祉サービス事業

(1) 健常児一時保育

【実施状況】

どんぐり利用児の兄弟を、同じ時間帯に受け入れました。

【利用人数】

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
4 年度	実人数	2	3	1	2	3	1	
	延人数	1 8	1 5	6	7	9	3	
3 年度	実人数	4	3	4	3	4	3	
	延人数	2 1	1 7	2 1	2 3	2 3	9	
		1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年間
4 年度	実人数	2	3	4	3	3	5	5
	延人数	9	8	8	1 9	1 6	3 8	1 5 6
3 年度	実人数	3	3	3	3	3	3	5
	延人数	1 7	1 5	1 9	1 5	1 3	2 0	2 1 3

【スタッフ数】 専属ボランティア等 3 人

4. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 自治体委託事業

① 利府町乳幼児発達相談事業

【実施状況】

平成 1 9 年度より利府町からの受託事業として実施。乳幼児健診で発達の心配な児童とその家族に対して ST・OT・心理による専門的な相談（森の相談室）と、親子教室としての育児支援（コアラ教室）を行ってきました。

【実施場所】 利府町保健福祉センター

【実施日数】 森の相談室：年間３７日実施（３～４日／月） コアラ教室：年間１８回実施（１～２日／月）								
【利用人数】 森の相談室（心理発達相談・言語発達相談・ＯＴ発達相談）								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人数	6	10	12	9	7	15	
	延人数	7	10	12	9	7	17	
3年度	実人数	10	11	15	8	8	12	
	延人数	10	11	17	8	8	13	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4年度	実人数	16	13	6	14	15	10	98
	延人数	16	13	6	14	15	10	136
3年度	実人数	17	9	10	10	9	10	103
	延人数	18	11	10	10	9	10	135
コアラ教室（親子教室） （対象児のみで保護者・兄弟は含まない）								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人数	3	3	2	3	3	3	
	延人数	3	3	2	3	3	4	
3年度	実人数		4	3	3	3	4	
	延人数		4	3	3	3	4	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4年度	実人数	4	10	11	8	10	9	15
	延人数	4	15	15	14	15	9	90
3年度	実人数	4	2	5	4	6	6	13
	延人数	8	3	8	4	15	8	63
【スタッフ数】 森の相談室：心理職・言語聴覚士・作業療法士の専門職５人 コアラ教室：保育士等３人								

② 利府町乳幼児精神発達精密健康診査

【実施状況】

令和3年度より利府町からの受託事業として実施。乳幼児健診の結果、より精密に健康診査を行う必要のあると認められる就学前の乳幼児とその保護者に対して、心理職による専門的な相談と検査を実施し、早期発見と適切な指導を行ってきました。

【実施場所】 利府町保健福祉センター

【実施日数】 年間 8回

【利用人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	2	2	2		1	1	
3年度	2	2		2	3		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4年度	1			2	2		13

3年度		1	1		1		12
【スタッフ数】心理職1人 担当保育士1人							

5. 付随事業

(1) 研修に関すること（法人全体人材育成研修以外）

実施日	内 容	場 所	数
8/15	サービス管理責任者等更新研修	オンライン研修	1
8/22・9/22	聴覚障害児研修	オンライン研修	4
8/24・25	新任職員研修	オンライン研修	1
9/14～16	サビ管児発管指導者養成研修（国研修）	オンライン研修	1
6/29	年金研修会	オンライン研修	1
2/24	NPO 法人会計基準と注記理解講座	オンライン研修	1

(2) 会議に関すること

実施日	内 容
各1回/月	主任会議、どんぐりカンファレンス、あのね会議、ぼくらの家・みんなの家会議、給食会議、総務会議(随時)

(3) 見学と実習の受け入れ、調査協力、地域貢献等に関すること

受入日	受入内容等	依頼先・見学者
5/30～6/29	社会福祉援助技術実習受け入れ	東北福祉大学
7/4～8/4	社会福祉援助技術実習受け入れ	東北福祉大学
8/22～9/22	社会福祉援助技術実習受け入れ	宮城学院女子大学
10/11～12	看護実習受け入れ	宮城大学
10/31～11/1	看護実習受け入れ	宮城大学
12/5～9	社会福祉援助技術実習受け入れ	宮城学院女子大学
2/2～3/8	社会福祉援助技術実習受け入れ	仙台大学

(4) 防災に関すること

① 防災・避難訓練

実施日	内 容
5/9～5/12	避難訓練 4日間実施 日中火災想定 参加者：利用児34人・職員19人・計53人

② 立ち入り検査 コロナ禍のため、電話での聞き取り検査となった。(1/25)

(5) 広報に関すること

【実施状況】どんぐり予定・あのねだより 月1回発行

VI. 地域拠点センター

1. 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業、並びに障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(1) 地域拠点センターふきのとう（障害児相談支援事業・特定相談支援事業）

【実施状況】

支援の対象者は原則当法人運営の事業所を利用されている障害児・者とししました。進捗率は、他相談事業所との連携もあり、ほぼ100%となっております。

【実施日数】 240日実施

【利用人数】

※利用計画とモニタリングも含む

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人員	17	16	15	16	16	19	
	延人員	17	16	15	16	16	19	
3年度	実人員	18	17	17	16	17	18	
	延人員	18	17	17	16	17	18	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4年度	実人員	21	18	15	14	18	16	42
	延人員	21	18	15	14	18	16	201
3年度	実人員	20	21	21	23	22	17	48
	延人員	20	21	21	23	22	17	227

【スタッフ数】 相談支援専門員 2人

2. 障害者総合支援法に基づく指定一般相談支援事業

(1) 地域拠点センターたんぽぽ（地域定着支援）

【実施状況】

次の項目の「地域生活支援コーディネート業務」に付帯する新規事業として開始し、6年が経過しました。原則上記事業の登録者であり、かつ地域相談支援の支給決定をされた方を対象として、地域生活の見守りを24時間365日体制で行っています。

【実施日数】365日実施

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人員	20	20	20	21	21	20	
	延人員	20	20	20	21	21	20	
3年度	実人員	15	15	15	15	15	15	
	延人員	15	15	15	15	15	15	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4年度	実人員	20	20	20	20	20	20	20
	延人員	20	20	20	20	20	20	242
3年度	実人員	15	16	16	18	18	19	19
	延人員	15	16	16	18	18	19	192

【スタッフ数】相談員1人（兼務）

3. その他目的を達成するために必要な事業（自治体委託事業）

（1）地域拠点センターふきのとう（宮城東部地域生活支援拠点等事業業務委託）

1）地域生活支援コーディネーター業務

【実施状況】

宮城東部地域2市3町（塩竈市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町）より委託を受け、実施いたしました。

2市3町行政から要請のあった地域に暮らす障害当事者について、個別に登録面談の機会を設けてアセスメント情報（成育歴・生活の状況・将来の生活への願い・障害の特性について）を細やかに聞き取り、緊急時に必要な支援内容、日常の支援の充実、将来への備えなど、日常の支援の充実のために、行政や担当の相談支援事業者と連携して取り組んでいます。登録数が増えていかないことや、緊急時の受け入れ先の拡大を目指した議論など、行政担当者との会議やプロジェクト会議を通じて、機能強化を図るための働きかけをしてきました。

【実施日数】246日実施

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4年度	実人数	25	29	36	28	37	45	
	延人数	61	72	100	62	78	157	
3年度	実人数	21	15	25	27	21	21	
	延人数	39	18	91	74	52	58	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4年度	実人数	32	37	48	43	39	44	81
	延人数	110	87	116	165	96	102	1206
3年度	実人数	22	30	25	25	11	19	63
	延人数	63	75	36	65	27	103	696

2）緊急時調整支援業務

【実施状況】

宮城東部地域2市3町の委託により実施いたしました。

法人内短期入所事業所「みんなの家」（利府こども発達センター内）並びに「さわおとの森短期入所」と連携し、「緊急時支援業務」に係る緊急受入れに備えるとともに、緊急時の相談に際しては、必ず1人以上を受け入れる約束をし、空き状況に応じて2人以上でも受け入れを行っています。本年度は以下のとおり緊急の受入れをいたしました。

【実施日数】365日実施

【利用人数】

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
4 年度	実人数	2	2	1	0	0	2	
	延人数	3	6	7	0	0	9	
3 年度	実人数	2	0	0	0	1	2	
	延人数	4	0	0	0	5	4	
		1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年間

4	実人数	5	2	2	2	0	1	19
年度	延人数	11	6	8	14	0	2	66
3	実人数	1	1	0	1	0	2	10
年度	延人数	5	2	0	3	0	8	31

3) 基幹相談支援センター業務

【実施状況】

宮城東部地域2市3町より委託を受け、実施いたしました。

宮城東部地域自立支援協議会の活動の中で地域住民のニーズから課題を抽出し、課題解決に向けて関係機関と連携し、地域づくりを推進しました。また、支援が困難になっているケース、地域生活支援拠点等事業の登録者について、行政や相談事業所の求めに応じてのバックアップと、専門的見地からのアドバイスをを行い、担当の相談事業所と共働しました。

【実施日数】 246日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4	実人数	39	39	51	42	50	53	
年度	延人数	117	109	158	108	136	181	
3	実人数	46	35	50	69	38	32	
年度	延人数	194	82	191	83	129	107	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4	実人数	46	47	62	48	50	58	180
年度	延人数	174	136	168	191	171	167	1816
3	実人数	41	44	40	42	29	33	146
年度	延人数	127	156	93	141	134	218	1719

4) 地域自立支援協議会事務局

【実施状況】

宮城東部地域2市3町より委託を受け、宮城東部地域自立支援協議会事務局として、市町の行政担当者と連携し、企画と運営に関わり、会議開催にあたっての連絡調整、記録作成、進捗管理等、庶務の一切を行いました。行政の担当者は数年ごとに異動してしまう中、取組に継続性を持たせるために当事業所の役割は重要性を増しています。基幹相談支援センターの機能と相まって、「誰でも安心して暮らすことができる地域づくり」の推進力となっていくことを目指しています。

前年度から引き続き新型コロナウイルスの感染拡大に留意しながらも、可能な限り取り組みを停滞させないように感染の予防措置を徹底しての研修会の開催や、定例会議にZOOMを活用するなどの工夫をして実施しました。

【実施日数】 246日

【実施件数】

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4	延件数	26	51	78	108	105	
3	延件数	30	76	163	88	77	

年度		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
4	延件数	92	75	52	60	52	32	820
3	延件数	121	73	66	106	101	29	1027

【スタッフ数】 管理者1人・コーディネーター2人・基幹相談員1人

(2) 障害児等療育支援事業「あとれ・あとれ黒川」(宮城県障害児等療育支援事業)

【実施状況】

1 訪問による療育指導 (実人数：30回 延べ人数：52人)

保護者または支援者の要望に合わせて、所属先の幼稚園・保育所、学校等への訪問を行いました。行動観察によるアセスメントを行い、心理、言語、身体面等の視点から各々に適した支援方法を検討した上で、支援者・家族への助言や情報共有を行いました。また、支援学校において対象児に必要なだとされる福祉サービスの情報提供や、支援の方向性を検討し合うケースもあり、関係機関と連携しながら対応してきました。

2 外来による専門的な療育相談・指導 (実人数：25件 述べ人数：40人)

発達特性に合わせた具体的な関わり方や、支援の方向性等についての相談がありました。他機関からの紹介を受けて面談に至ったケースや、知人からの情報や県のホームページで見つけて相談を申し込んできたケースもある中で、例えば、発達の特性から社会不適応な状況にある家族の相談等がありました。また、外来での相談を実施した上で、行動観察によるアセスメントを行い、その結果を基に支援のアドバイスをを行うケースもありました。

3 障害児の通う保育所や放課後児童クラブ、障害児通所支援事業所等の職員の療育技術の指導 (実施回数：3回 実人数：18人 述べ人数：18人)

児童発達支援の職員に対し、発達障害児の発達の段階についての説明や、関わり方についての助言と情報提供を行いました。また、保育園において発達が気になる子の行動観察を行い、本人支援・家族支援の方向性の検討会やペアレント・プログラムの視点を取り入れた支援についての助言を行いました。子育て支援センターにおいては、利用児に合わせた環境調整や支援方法についての助言を行ってきました。

4 発達障害者地域支援マネジャーとの連携

教育機関への訪問が必要なケースや、複数の支援機関が関わっていてそれぞれの関係性に課題があるケース等で支援の方向性を協議しました。また、教育機関でペアレント・プログラムを実施した際にはオブザーバーとしての参加を、子ども総合センターと共催のペアレント・プログラム支援者研修を実施した時には研修内容の検討と全体の進行を依頼し連携を図りました。

5 家族への支援

ペアレント・プログラムを、圏域内3か所において合計4回実施しました(参加人数は合計24名)。同時に実施者養成も行われ、8名が実施者資格を取得し、7名がアドバンス研修に参加し指導者資格を取得しました。また、小学校の支援学級に通う児童の保護者と、中学校の支援学級に通う児童の保護者がそれぞれ集まり、親同士が交流したり情報交換を行ったりする等のピアカウンセリングを目的とした家族サロンを開催しました。

【事業に伴う成果】

小学校からペアレント・プログラム実施の依頼があり、教職員への研修と、保護者向け

に6回のプログラムを実施することが出来ました。学校での実施ということで様々な制限はあったものの、熱意のある教職員がいらしたことで開催が可能となりました。次年度の実施は未定ですが、なるべく多くの教育関係者にプログラムを知ってもらう機会を作っていくことが重要だと確認しました。

ペアレント・プログラム支援者向け研修会を、塩竈圏域(2/2)、黒川圏域(2/3)に開催しました。行政職員、こども園・保育所職員、児童発達・放デイ職員等の参加がありました。事後アンケートで、ペアレント・プログラムの実施を前向きに検討している事業所がいくつかあったことから、次年度の研修開催に向けて連絡を取り合い、実施内容を検討していくことにしています。

(3) 宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

地域支援体制の構築 (担当地域の状況や課題、ニーズ、今年度の取組など)

1 市町村及び事業所等への支援

- ①ケースを通じた関わりでは、市町村から児相の関わる困難ケースへの依頼や、学校からの依頼を受けて行動観察やカンファレンスを行い、現場における支援の提案を行いました。また、療育支援事業から、主に学童期の保護者と支援者の関係性に難しさを抱えたケースの相談を受け、連携してケース対応を行いました。

〈対応した総件数127件・実人数37名〉

- ②個別のケース以外の支援では次のような活動を行いました。

就学審議における児童や保護者への配慮事項や着眼点についてコンサルテーションや、ペアレント・プログラムの啓発研修実施の後方支援を行いました。

また東部自立協主催のきょうだい児支援部会に参加し、宮城県発達障害者支援センター(直営センター)のペアレントメンター派遣事業を活用したイベントの計画実施に携わりました。例年は1日の開催でしたが保護者の要望が多かったため、今年度は2回実施しました。(参加者は2回実施で、のべ16名。両日ともにメンター2名、直営センター担当2名、スタッフ11名)。メンターの話題に刺激を受けて参加者が自身の状況を開示していく様子や1回目に参加し、内容に感銘を受け2回目も参加された保護者もいました。

- ③圏域ネットワーク会の体制構築の一歩として、直営センターと共催で圏域別研修会を実施しました〈圏域別研修参加者44名〉。その時のグループワークの記録をまとめて参加者に還元しています。今回は子育て支援に直接かかわる支援者と事業所で療育や生活介護に携わる職員、行政の担当者や保健所職員が参加していただきましたが、「地域における相談支援体制の切願」を改めて知り、その課題を基にして次年度のネットワーク会を計画していくことが求められていると確認しました。また、地域の子育て支援に関わる職員に対し、具体的な事例を通して発達特性の理解や見立てと保護者の特性に応じた支援についてのアドバイスをを行いました。

2 家族への支援

・ペアレント・プログラムの実施。利府こども発達センター児童発達支援利用児の保護者対象として実施〈参加者8名〉しました。実施者養成研修会を兼ねており、他圏域の地域支援マネジャーをスーパーバイザーとしてアドバイスを頂きながら、実施者養成を行いました。

- ・3年目となる家族サロンを実施。「中学校進学を控えた自・情学級の保護者の情報交換の場」を提供しました。参加者は先輩保護者2名を含めて保護者4名、スタッフ3名でした。当日様々な事情でキャンセルになった保護者も加えますと先輩保護者以外で5名の参加希望者がいたことになり、支援学級に通う児童の保護者が情報を得る機会を心から欲している事実を知りました。支援学級在籍の保護者は自ら発信しない限り、情報を得る機会が少ないという実情があり、特に療育手帳を持たない支援級の児童の進学については、当事者の家族の大きな悩みどころとなっています。今回、それをテーマにしてサロンを開催できたことは大変有意義でした。共に語り合う場所の提供としてサロン運営の意義はあったと確認できました。

3 医療機関との連携

- ・個別ケースにおける医療機関との連携はありませんでしたが、直営センター所属の医師を中心としたケース検討会において、医療の立場からケースについての見立てや支援の進め方について助言を得られました。
- ・就学に関わる心理検査の依頼が増えているということについて、医療側から問い合わせがあり情報交換を行いました。また、地域の相談場所として、医療機関から紹介されて相談に繋がるケースがいくつかあり、実際に面談を実施し相談者の悩みに添って対応しました。

4 県等との連携

- ・直営センターと共催で圏域別研修会を開催し、圏域ネットワーク構築に向けた第一歩として、グループワークを実施しました。
- ・自立協きょうだい児ネットワーク会でのメンター派遣事業を活用のため、メンター派遣と事前協議や当日対応で協力をいただきました。
- ・圏域毎の活動状況の把握や小学校におけるペアレント・プログラムを実施する上で当日の運営面等で協力を得ながら実施できました。また、ペアレント・プログラム啓発研修会においては場所の設定や研修会のお知らせ等様々な支援を受けながら協力して実施できました。その啓発研修会を受けて、次年度の支援者向けペアレント・プログラム啓発研修の持ち方など検討することができました。参加者から実施に向けて前向きな反応も得られ、療育支援事業担当者を中心として今後対応について検討していきます。
- ・発達支援センター主催の研修会に参加し、支援技術向上を図ったり成人期発達障害者への対応についての研修や意見交換などができました。
- ・塩竈圏域でのペアレント・プログラムを支援者養成研修として実施しました。その際、スーパーバイザーとして他圏域マネジャーに参加して頂きました。同時にそれぞれの圏域での活動状況など情報交換し合い、それぞれの取り組みを見直す際の参考にするなど事業活動上の連携強化ができました。

2. 付随事業

(1) 研修に関する事（法人全体人材育成研修以外）

【ふ】：ふきのとう 【あ】あとれ

(2) 会議に関する事

◎全体職員会議 利府こども発達センターと同じ

◎ふきのとう所内会議 毎月2市3町会議の後に開催

◎あつれ内会議 年6回実施

◎その他会議 随時出席

【ふきのとう】

(自立支援協議会関係)

2市3町行政担当者との会議(毎月)、担当課長会議(1回)、相談支援部会(毎月)

その他協議会に係るプロジェクト会議、ネットワーク会議、ダイレクトB会議等(随時)

(ケース会議)

依頼により随時出席

(3) 講師等派遣に関すること

【ふきのとう】

○令和4年度宮城県相談支援従事者初任者研修(行本)

○令和4年度宮城県相談支援従事者現任者研修(行本)

○令和4年度宮城県サービス管理責任者基礎研修(竹内、佐野)

○令和4年度宮城県サービス管理責任者更新研修(佐野)

○アセスメント技術を高める研修会(佐野)

(4) 見学と実習の受け入れ、調査協力、地域貢献等に関すること

○ソーシャルワーク実習受け入れ(東北福祉大学・4名)

○ソーシャルワーク実習受け入れ(宮城学院女子大学・1名)

○ソーシャルワーク実習受け入れ(仙台大学・1名)

○2市3町手をつなぐ育成会役員会に参加

○2市3町精神障害者家族会役員会に参加(その他各市町の家族会に参加)

○相談支援従事者初任者研修に係るインターバル研修の受け入れ実施

令和4年度 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額			内 訳
I 経 常 収 益 の 部				
1.受取会費収入				
正会員会費	145,000			
賛助会員会費	1,261,000	1,406,000		
2.事業収入				
児童発達支援	121,533,145			
放課後等デイサービス	78,094,985			
保育所訪問	2,351,802			
生活介護	73,109,580			
短期入所	111,151,483			
共同生活	24,303,893			
居宅介護	724,840			
行動援護	5,718,322			
一時保護	282,264			
計画相談支援	5,383,720			
地域定着	823,140			
レスパイト	297,000			
市町村委託事業	46,549,565	470,323,739		
3.受取助成金等収入				
助成金	8,406,099	8,406,099		処遇改善臨時特例交付金等
4.受取寄附金収入				
寄附金	2,030,000	2,030,000		
5.雑収入				
預金利息	1,409			
GH家賃収入	540,000			
売電収入	552,004			
食費収入	7,988,210			
講師派遣・研修等収入	937,120			
その他	3,275,459	13,294,202		おやつ・贈い・休業損失保険金等
経 常 収 益 計			495,460,040	
II 経 常 費 用 の 部				
1.事 業 費				
(1)人件費				
職員棒給	306,667,616			正規・契約・パート・専門・派遣
職員手当	5,722,734			通勤手当
法定福利費	45,325,789			社会保険等
退職金共済掛金	7,546,300	365,262,439		
(2)その他経費				
報酬費	3,130,967			委託医報酬等
消耗品費	7,974,129			教材他
食料費	8,875,502			短期入所食材費用
修繕費	306,536			施設修繕費
燃料費	4,183,252			灯油代等
水道光熱費	6,778,239			上下水道、電気代等
保険料	4,611,139			公用車車両保険等
備品費	526,296			備品消耗品等
車両費	3,236,007			車検、私用車代等

使用料	6,507,687			セコム等
地代家賃	4,966,550			土地・建物
旅費交通費	12,860			研修会等旅費
減価償却費	29,835,783			
雑費	2,540	80,947,487	446,209,926	
2.事務費				
(1)人件費				
役員報酬	1,800,000	1,800,000		
(2)その他経費				
委託費	4,228,036			調理業務等
福利厚生費	778,046			予防接種等
広告宣伝費	496,342			求人広告等
研修費	198,340			社会福祉協議会等
渉外費	249,391			謝礼等
会議費	38,646			理事会等
通信費	1,976,085			電話・インターネット・切手等
新聞図書費	68,460			福祉新聞社等
諸会費	53,000			町内会費等
支払手数料	2,816,144			振込手数料等
租税公課	1,636,316			固定資産税等
寄附金	2,072,570			国境なき医師団等
支払利息	1,095,946	15,707,322	17,507,322	融資利息
経常費用合計			463,717,248	
Ⅲ 経 常 外 費 用 の 部				
固定資産除却損	23,672,938	23,672,938		
経常外費用合計			23,672,938	
税引前当期一般正味財産増減額			8,069,854	
法人税、住民税及び事業税			2,428,000	
当期一般正味財産増減額			5,641,854	
前期繰越一般正味財産額			339,711,937	
国庫補助金積立額からの繰入額			12,771,687	
次期繰越一般正味財産額			358,125,478	

事業別活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

勘定科目	＜さわおと＞	＜ひまわり園＞	＜あかいしの森＞	＜利府こども＞	＜地域拠点C＞	＜本部＞	＜合計＞
[経常収益]							
正会費収入	0	0	0	0	0	145,000	145,000
賛助会費収入	0	0	0	0	0	1,261,000	1,261,000
児童発達支援	0	19,028,630	68,360,775	34,143,740	0	0	121,533,145
放課後等デイサービス	24,882,740	7,476,830	24,212,193	21,523,222	0	0	78,094,985
保育所訪問	0	0	624,784	1,670,858	56,160	0	2,351,802
生活介護	73,109,580	0	0	0	0	0	73,109,580
短期入所	81,793,732	0	0	29,357,751	0	0	111,151,483
共同生活	0	0	0	24,303,893	0	0	24,303,893
居宅介護	724,840	0	0	0	0	0	724,840
行動援護	5,718,322	0	0	0	0	0	5,718,322
一時保護	116,472	0	0	165,792	0	0	282,264
計画相談支援	0	0	3,564,580	0	1,819,140	0	5,383,720
地域定着	0	0	0	0	823,140	0	823,140
レスパイト	0	500	224,000	72,500	0	0	297,000
自治体委託事業	50,000	418,000	0	536,700	45,544,865	0	46,549,565
助成金収入	2,295,108	377,663	1,205,762	1,568,695	0	2,958,871	8,406,099
寄附金収入	0	0	30,000	0	0	2,000,000	2,030,000
利用者実費	4,526,990	0	1,091,700	2,369,520	0	0	7,988,210
賄い収入	489,020	0	2,400	445,680	37,100	0	974,200
雑収入	1,008,966	7,000	592,604	1,766,193	145,520	810,100	4,330,383
受取利息配当金	0	0	0	0	0	1,409	1,409
運営健全化調整費	0	0	0	0	0	0	0
経常収益合計	194,715,770	27,308,623	99,908,798	117,924,544	48,425,925	7,176,380	495,460,040

勘定科目	＜さわもと＞	＜ひまわり園＞	＜あかいしの森＞	＜利府こども＞	＜地域拠点C＞	＜本部＞	＜合計＞
賃金(正規職員)	86,751,964	21,749,789	59,364,713	67,680,986	32,988,563	0	268,536,015
賃金(契約職員)	2,258,739	0	5,988,370	9,160,701	0	0	17,407,810
賃金(パート職員)	9,756,302	0	1,425,445	1,743,330	0	0	12,925,077
賃金(専門職)	1,951,000	0	0	0	0	0	1,951,000
賃金(嘱託職員)	0	0	0	3,617,411	0	0	3,617,411
賃金(派遣)	1,659,486	0	570,817	0	0	0	2,230,303
通勤交通費	1,850,079	502,380	1,420,483	1,302,522	647,270	0	5,722,734
法定福利費	16,845,354	5,021,308	9,484,875	9,460,722	4,513,530	0	45,325,789
退職共済掛金	2,814,085	838,997	1,557,714	1,601,714	733,790	0	7,546,300
事業人件費計	123,887,009	28,112,474	79,812,417	94,567,386	38,883,153	0	365,262,439
報償費	352,164	173,684	566,718	204,314	37,411	1,796,676	3,130,967
消耗品費	4,923,433	557,733	1,088,745	1,134,478	197,937	71,803	7,974,129
食材費	4,892,307	2,698	1,060,404	2,916,619	3,474	0	8,875,502
修繕費	52,800	40,785	203,241	9,710	0	0	306,536
燃料費	2,188,102	231,977	688,581	976,968	97,624	0	4,183,252
水道光熱費	2,568,759	0	1,898,107	1,854,015	457,358	0	6,778,239
保険料	253,660	87,100	488,960	220,480	36,920	3,524,019	4,611,139
備品費	110,000	201,300	251,196	△ 36,200	0	0	526,296
車両費	797,370	199,068	885,201	1,066,982	487,386	△ 200,000	3,236,007
使用料	2,233,343	575,748	1,103,891	1,669,542	542,473	382,690	6,507,687
地代家賃	2,500,000	0	0	1,900,500	566,050	0	4,966,550
雑費	0	0	1,000	1,540	0	0	2,540
旅費交通費	900	0	0	0	0	11,960	12,860
減価償却費	12,938,230	61,322	6,444,471	8,488,823	1,902,937	0	29,835,783
その他事業費合計	33,811,068	2,131,415	14,680,515	20,407,771	4,329,570	5,587,148	80,947,487
事業費計	157,698,077	30,243,889	94,492,932	114,975,157	43,212,723	5,587,148	446,209,926
役員報酬	0	0	0	0	0	1,800,000	1,800,000
事務人件費計	0	0	0	0	0	1,800,000	1,800,000
委託費(事務)	0		3,234,000	648,536	0	345,500	4,228,036
福利厚生費(事務)	246,330	57,845	180,334	162,016	98,521	33,000	778,046
広告宣伝費(事務)	388,542	0	77,000	0	0	30,800	496,342
研修費(事務)	75,020	0	47,520	27,800	48,000	0	198,340
渉外費(事務)	83,647	8,401	2,268	14,373	2,323	138,379	249,391
会議費(事務)	7,729	2,051	0	0	0	28,866	38,646
通信費(事務)	434,023	128,311	520,703	382,355	405,374	105,319	1,976,085
新聞図書費(事務)	2,230	6,600	11,280	25,580	22,770	0	68,460
諸会費(事務)	0	0	0	30,000	0	23,000	53,000
支払手数料(事務)	2,499,226	48,848	94,017	106,576	16,260	51,217	2,816,144
租税公課(事務)	143,716	0	4,950	200	757,400	730,050	1,636,316
寄付金(事務)	2,009,030	0	0	3,540	0	60,000	2,072,570
支払利息(事務)	1,084,656	0	11,290	0	0	0	1,095,946
その他事務費計	6,974,149	252,056	4,183,362	1,400,976	1,350,648	1,546,131	15,707,322
事務費計	6,974,149	252,056	4,183,362	1,400,976	1,350,648	3,346,131	17,507,322
運営健全化調整費							0
経常経費計	164,672,226	30,495,945	98,676,294	116,376,133	44,563,371	8,933,279	463,717,248
経常損益	30,043,544	△ 3,187,322	1,232,504	1,548,411	3,862,554	△ 1,756,899	31,742,792
固定資産除却損	23,672,938						23,672,938
経常外費用計	23,672,938	0	0	0	0	0	23,672,938
収支差額	6,370,606	△ 3,187,322	1,232,504	1,548,411	3,862,554	△ 1,756,899	8,069,854
国庫補助金積立額戻入	△ 3,042,785	0	△ 5,263,297	△ 2,937,562	△ 1,528,043	0	△ 12,771,687
実質的経営損益	9,413,391	△ 3,187,322	6,495,801	4,485,973	5,390,597	△ 1,756,899	20,841,541

令和4年度 貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日 現在

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金 額		
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金	311,914		
普通預金	185,637,716		
郵便貯金	2,466,321		
未収入金	94,293,810		
流 動 資 産 合 計		282,709,761	
固 定 資 産			
建物	345,175,754		
建物付属設備	46,611,547		
構築物	19,640,601		
車両運搬具	4,853,067		
工具器具備品	2,007,814		
水道施設利用権	1,518,729		
固 定 資 産 合 計		419,807,512	
投 資 等			
出資金	1,000		
差入保証金	20,000		
長期前払費用	1,642,667		
保険積立金	8,300,490		
投 資 等 合 計		9,964,157	
資 産 合 計			712,481,430
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未払金	20,788,639		
未払法人税等	2,428,000		
未払消費税	340,500		
預り金	5,553,082		
流 動 負 債 合 計		29,110,221	
負 債 合 計			
固 定 負 債			
長期借入金	145,346,000		
流 動 負 債 合 計		145,346,000	
負 債 合 計			174,456,221
III 正味財産の部			
指定正味財産			
指定正味財産計	179,899,731		
指定正味財産計		179,899,731	
国庫補助金積立額			
前期繰越正味財産	339,711,937		
当期正味財産増加額	18,413,541		
一般正味財産計		358,125,478	
正 味 財 産 合 計			538,025,209
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計			712,481,430

令和4年度 財産目録

令和 5 年 3 月 31 日 現在

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
流動資産			
現金・預金			
さわおと現金	95,731		
ひまわり現金	46,091		
利府こども現金	31,030		
あかいし現金	139,062		
七十七銀行七ヶ浜支店(普) No 5271002	181,455,236		
七十七銀行七ヶ浜支店(普) No 9110305	4,004,619		
七十七銀行利府支店(普) No 5007287	177,861		
郵便貯金 18110-30532021	2,466,321		
未収入金			
給付費	86,818,079		
その他	7,475,731		
流動資産合計		282,709,761	
固定資産台帳	419,807,512		
固定資産合計		419,807,512	
投資等			
出資金 東北自動車共済	1,000		
差入保証金 セコム㈱	20,000		
長期前払費用 扶桑電通	1,642,667		
保険積立金 マニユライフ生命	8,300,490		
投資等合計		9,964,157	
資産合計			712,481,430
II 負債の部			
流動負債			
未払金			
令和5年3月分給与	15,635,203		
その他	5,153,436		
未払法人税等	2,428,000		
未払消費税	340,500		
預り金			
令和5年3月 社会保険	4,463,268		
令和5年3月 源泉所得税	140,214		
令和5年3月 住民税	894,600		
財形貯蓄	55,000		
流動負債合計		29,110,221	
固定負債			
長期借入金			
福祉医療機構	4,026,000		
福祉医療機構	80,000,000		
地域総合整備資金	17,144,000		
七十七銀行	44,176,000		
固定負債合計		145,346,000	
負債合計			174,456,221
正味財産			538,025,209